＊＊2007 年 12 月 19 日（第 4 版）
＊2006 年 3 月 8 日（第 3 版）

＊＊承認番号 21900BZX01242000

機械器具 58 整形用器具器械
管理医療機器 能動型下肢用他動運動訓練装置 JMDN コード：35977002
特定保守管理医療機器 オムニローダー GH-905

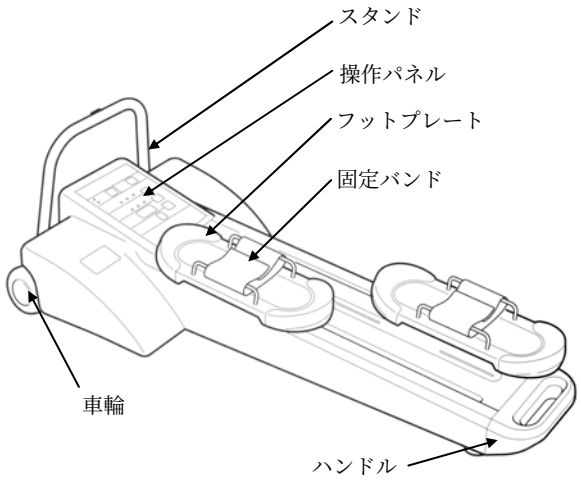
【禁忌・禁止】
以下に示す人の使用は止めること。
① 骨粗鬆症の人。
② 幼児または意思表示ができない人。
③ その他、医師が不適当と判断される場合。

【併用禁忌】＊＊
他の治療器との併用は行わないこと。[機器の誤作動の原因になります。]

【形状・構造及び原理等】＊＊

1) 構成
本製品は、以下のユニットにより構成されます。
① 装置本体
② 付属品
製品の詳細な構成は、本製品付属の取扱説明書「各部のなまえとはたらき」、「付属品」を参照してください。

2) 各部の名称



3) 電気的定格
電源電圧：AC100V 50/60Hz
電源入力：102VA

4) 電磁両立性
本製品は EMC 規格 JIS T 0601-1-2:2002 に適合している。

5) 機器の分類
電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B 形装着部

6) 本体寸法及び質量
寸法：幅 430㎜×奥行 996㎜×高さ 317㎜
質量：21kg

7) 作動原理
フットプレートは、本体内部の交互巻取り機構に接続されているワイヤーに固定され、交互巻取り機構によって左右交互に往復運動します。交互巻取り機構をモーターで駆動すると、フットプレートが設定された速さとスライド範囲内で左右交互に自動で往復運動します。モーターで駆動せず、自力でフットプレートを動かす場合には、交互巻取り機構に接続されているパウダーブレーキによって一定の抵抗が負荷され、抵抗訓練を行うことができます。

【使用目的、効能又は効果】＊＊
関節の癒着・拘縮の予防及び関節可動域の改善を行うこと。

【品目仕様等】＊＊
性能
自力モード時のスライド範囲：最大 350㎜
おまかせモード時のスライド範囲：長い 330㎜、普通 240㎜、短い 120㎜ の 3 段階切替
おまかせモード時のスライド速度：下表

速度 / 長さ	速い	普通	遅い
長い(330㎜)	330㎜/s	165㎜/s	110㎜/s
普通(240㎜)	240㎜/s	120㎜/s	80㎜/s
短い(120㎜)	120㎜/s	60㎜/s	40㎜/s

時間設定：5～30 分(5 分毎)または連続(Co)
負荷設定：3～9kg(×9.8N)の範囲で 1kg(×9.8N)毎
最大許容荷重：フットプレート面 30kg、その他の部分 10kg
安全装置：動作異常検出回路、リモートスイッチ

【操作方法又は使用方法等】＊＊

1) 使用前
① 保護接地線を本体の保護接地端子に接続し、保護接地線の他端を施設の接地端子に接続します。
② 電源コードを本体のインレットに差し込み、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
③ リモートスイッチを本体のリモートスイッチコネクタに接続します。
④ フットプレートが動く範囲に障害物がないか確認します。
⑤ 膝位置表示板の膝位置を参考に、訓練者の体型や症状に合わせて椅子(または車椅子)の位置を決めます。
⑥ 電源スイッチを入れます。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

⑦ 訓練者または付き添いの方に、リモートスイッチを持たせます。
⑧ 足をフットプレート上に乗せて、固定バンドで固定します。

2) 使用中
① モードスイッチを押して、「自力モード」または「おまかせモード」を選択します。
② 「自力モード」の場合はピッチ音の速さ、訓練時間、負荷を、「おまかせモード」の場合はスライド速さ、スライド長さ、訓練時間を設定します。
③ 開始・停止スイッチを押すか、リモートスイッチを押して訓練を開始します。
④ 設定した訓練時間を終了すると、訓練終了音が鳴り、フットプレートが自動的に中央に戻り停止します。
⑤ 途中で終了したい場合は、開始・停止スイッチまたはリモートスイッチを押すと終了します。
⑥ 訓練・時間表示に、訓練した距離を表示します。

3) 使用後
① 電源スイッチを切ります。
② 電源コードのプラグをコンセントから抜いて、電源コードを本体のインレットから抜きます。
③ 保護接地線を施設の接地端子から取り外し、本体の保護接地端子から取り外します。
④ リモートスイッチを本体のリモートスイッチコネクタから抜きます。
⑤ 使用したフットプレートや付属品類を清浄にします。

製品の詳細な使用方法は、本製品付属の取扱説明書「使用方法」を参照してください。

【使用上の注意】＊＊

1. 重要な基本的注意

1) 機器の外装は外さないこと。
2) 独自に機器の改造や修理はしないこと。
3) 電源は適正に配線されたコンセントから取ること。また、保護接地線を正しく接続し、ガス管・水道管への接続はしないこと。
4) 機器に異常な振動・揺れ・音などが発生した場合は、直ちに使用を中止し、適切な表示（「故障中」など）をして、お買い上げ店または弊社営業所へ連絡すること。
5) 使用しないときは電源プラグをコンセントから抜くこと。
6) 使用・保管場所について、次のような場所は避けること。
① 水のかかる可能性のある場所
② 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所
③ 高温・多湿な場所
④ 直射日光、塩分・イオウ分を含んだ空気などにより、機器に悪影響を与えるおそれのある場所
⑤ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所
7) コード類は強く折り曲げたり、引っ張るなどの無理な力をかけないこと。
8) 機器を使用する前には、異常がないか確認して使用すること。
9) 使用前にフットプレートが動く範囲に障害物がないか確認すること。
10) 使用中は訓練者に異常がないことを絶えず監視すること。
11) 可動部分で身体の一部を挟まないように十分注意すること。
12) 機器の上に立たないこと。
13) 機器に無理な力や強い衝撃を与えないこと。
14) 機器は次回の使用に支障のないように必ず清浄にすること。
15) 有機溶剤（シンナー、ガソリン、アルコールなど）や消毒液、化学薬品で清掃しないこと。
16) 本製品を移動させるときは、電源コード、リモートスイッチ、保護接地線を本体から外すこと。

2. 相互作用／併用注意（併用に注意すること）

1) 他の治療器との併用は、機器の誤作動の原因となるので行わないこと。
2) EMC(電磁両立性)については取扱説明書に従って設置すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1) 使用環境条件
周囲温度範囲：10～40℃
相対湿度範囲：30～75%(結露状態を除く)
気圧範囲：860～1060hPa

2) 保管環境条件
周囲温度範囲：－15～65℃
相対湿度範囲：20～85%(結露状態を除く)
気圧範囲：860～1060hPa

【保守・点検に係る事項】＊＊

1. 使用者による保守・点検事項

点検項目	点検頻度	点検内容(概要)
日常点検	毎回	操作パネルの異常の有無 フットプレートの異常の有無 固定バンドの異常の有無 電源スイッチの動作確認 リモートスイッチの動作確認 表示器の異常の有無
定期点検	１ヶ月に一回	電源コード、電源プラグの異常、断線の有無 電源コード接続部の異常の有無 保護接地線と保護接地端子の接続部の異常の有無 リモートスイッチのコードの異常、断線の有無 操作スイッチの動作確認 フットプレートの動作確認
定期保守点検	１年に一回	外装および付属品の亀裂、破損の有無 ヒューズの状態 操作パネル、表示の視認性 製造番号ラベルの表示 電源入力 接地漏れ電流 外装漏れ電流 絶縁抵抗

使用者の方が日常点検と定期点検と定期保守点検を行ってください。製品の詳細な保守・点検は、本製品付属の取扱説明書「保守・点検」を参照してください。

2. 業者による保守・点検事項

使用者の方による日常点検、定期点検、定期保守点検において異常が感じられた場合は、業者による保守･点検を依頼して下さい。使用者自らが定期保守点検できない場合は、弊社営業所が受託することも可能です。お買い上げ店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

【包装】

1台(又は1セット)単位

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】＊＊

製造販売業者：オージー技研株式会社
住所：岡山県岡山市海吉 1835-7
電話番号：086-277-7181（代表)

休日受付コールセンター
電話番号：0120-33-7181
受付日：休日（土・日・祝日）
受付時間：9:00～18:00

製造業者：オージー技研株式会社　邑久工場